

# IGF 2022報告会について決めたい事項

1. 会の位置づけ、フォーカスの決定
    - a. IGF 2022の内容の共有
    - b. IGF 2023にセッション(ワークショップ等)提案をチームとして行うかどうか、その件について会で扱うか
    - c. IGF 2023を日本でやることになった意義の共有
  2. 2月9日木曜日14時から17時までの3時間で枠を押さえた
  3. イベントの長さの確定→3時間
  4. オンライン開催とするか、会場を借りてハイブリッドで開催するかを決める→ハイブリッドとする
  5. 登壇者の確定
  6. 挨拶者を決める
  7. ニューカマー向けセッションや特別セッションのようなものをやるか、やるなら担当を決める
    - a. 平日午後という日程ならニューカマーのリアル視聴・リアル参加はほぼ期待できないので、そちらの方は別途作成される予定の前村さんスライドに委ねて、イベント自体はプロ向けが良いと思います(実積さん意見)。
    - b. JANOGなどから参加する方向けに、ある程度用意はするが臨機応変に
  8. 活発化チームが主催するか、JPNIC/JAIPAか→活発化チームが主催する
  9. 日本IGFタスクフォースにはどのように関わってもらうか
  10. 全体の司会者の決定
- 

## プログラム案

- 全体司会は高松さんにお引き受けいただけることになった
- 挨拶(20分)→誰に依頼するか?
  - タスクフォース副会長(江崎氏)とかに依頼すればよいのでは→TF自体の紹介もお願いしたい
  - 日本政府のどなたか(総務省国際戦略局のどなたか?)から
- IGFとは何か?(30分)<ニューカマー向け>
  - 報告会中のプログラムとするか、事前に見てきてもらうか→前者、ビデオも作成する
- IGF 2022参加者による報告(80分)
  - 全体概要+フラグメンテーション(事務局、10分)
  - 飯田(5~10分)

- 河内: MAGから見たIGF(5~10分)
- 小宮山(5~10分)→JPCERT/CC登山さんが発表
- 高松(5~10分)全体
- 立石(5~10分)
- 八田(5~10分)
- 堀田(5~10分)インフラからヒューマンファクターへの移り変わり、規制・法制化関連
- 質疑応答+今後に向けて(60分)
  - 質疑応答
  - IGF 2023に向けた提言の議論
    - IGFのお作法、失敗談など共有できれば/IGFセッション提案体験談→小林さんに依頼してみる
    - 京都で議論する内容について
    - それでいいのかIGF、的議論?
    - モデレーター: 上村さんはいかがか、何を打ち出すのか明確にする必要がある
- まとめ/締め/挨拶(3分)→形式的な挨拶、誰に依頼するか?